

番組審議会議事録（第90回、令和7年12月開催）

1. 開催年月日 令和7年12月17日

2. 開催場所 ゆめタウン廿日市内FMはつかいちにて

3. 委員回答

委員総数・・・7名

回答委員数・・・7名

●回答委員 小松隆文・舩附洋子・柴久美子・三浦実一・植村明美・銭谷綾介・川西佑輝（代理出席）

●未回答委員

●放送事業者側 倉本良一・香川典加

4. 議 題

これからの番組審議会のあり方、日頃お聞きになっている放送のこと、局全体のことなど何でもご意見をお願いします。

5. 議事の概要と審議内容ほか

■番組名：佐伯商工会presents「廿日市の高い場所から失礼しますラジオ」

放送日時：毎月第2月曜日 18:30～19:00

パーソナリティ：栗田直樹

アシスタント：狩山穂香

ゲスト：SunnySunday/山岸さん・カドヤパン/橋本さん・LUCKY/内山さん@津田商店街

【番組主旨】

廿日市市の山間部に位置する佐伯地域。自然豊かなこの地で営まれる人々の暮らしや、地域を支える事業者の取り組み、伝統文化や観光資源などを、毎月多彩なゲストとともに紹介します。

番組では、地元で活躍する方々の“声”を通して、地域の魅力や課題をリアルに伝え、リスナーとともに「これからの佐伯」を考えるきっかけを提供します。まるで高い場所から町を見下ろすように、広い視野で地域を見つめ直す30分番組。

廿日市市佐伯地域の魅力や地域課題、活性化への取り組みを、佐伯商工会の視点から発信する地域情報番組です。タイトルにある「高い場所から」は、佐伯地域の地理的特徴を象徴するとともに、広い視野で地域を見つめる姿勢を表しています。

毎回、地元の事業者や団体、住民をゲストに迎え、地域での活動や想いを紹介。商工会が果たす役割や地域経済の動向、観光資源、文化・伝統などを多角的に取り上げ、地域住民の理解促進と交流のきっかけづくりを目指しています。

放送回：第2回目10月13日分。

【番組について】

- ・審議員になって自分の知らない世界の人達に放送を通じて出会えて良かった。試行錯誤しながら出来た話を聞けるのがありがたい。放送を聞かなかったら関心を持たなかったかもしれない。放送を聞いて経過を聞いて、どんなお店が出来るのかとかFMを通して興味が出てきた。若い人が関心を持って、空き店舗があるところも発展していくのではないかと楽しみになってきた。

- ・すごく聴きやすい。パーソナリティも事前に調べていて、聴きやすい反面、もう少し癖があっても良いのではないのかと思った。自身が映像に携わっているのもう少し誰に向けて、どんな感じのものをお伝えするのかを冒頭10秒程度にまとめて言っていくと良いかと思った。最後の方も次回に向けてリスナーの方に投げかけるものもあったら良いのではないかと思った。次回も聞いてみようと思わせるようなものを。もう少しリスナーを巻き込んだ感じの仕組みがあっても良いのかと。

- ・若い人たちがテンポ良く楽しそうに話していてよかった。自身の好きな物の3店舗だったので、興味深く聴けた。無料駐車場があるのとかを初めて知れたし、津田商店街が元気な様子や、（自身の所属する）廿日市商工会議所負けたな、と思った。明るい未来の津田というのが分かった。目的地として行きたくなった。

- ・初めにどういうことがあるのかを楽しい雰囲気の中でも伝えてもらおうと、どんな感じで聞くのかと、映像がない分、笑い声の中でも、「こうだから楽しい」というのが分かった方が良いと思う。次回の告知があった方が良い。始まりもふわっと、終わりもふわっとして、もう少しメリハリがある方が良いと思う。佐伯町は少し距離があるが、行ってみたいなと思うし、全国から来られる、というのを聞くと発信することの大切さを感じた。

- ・喋り手の二人とも顔をわかっていたので、ほっこりしながら聞いていた。津田商店街が盛り上がっているというのを聞いていたが、放送を聞いてより行きたくなった。いつもリクエスト曲はその人が分かるのでどんな曲が流れるかなと思いながら聴くが、今回は好きな曲だったのでまた良かった。佐伯の円卓会議がウェルカムな感じが良い。

- ・基本的には、聴きやすい番組だった。自身の祖母が浅原の出身で、津田のバスセンターでバスに乗り換えていた。当時は賑やかな商店街だったが、その後寂れた感じがしていた。息子がJAに努めていた時にはまだ店があった。今が一番店の少ない時期だと思う。ここをどうしたいのか、ここを目的地にしたい。パーソナリティが目的地にしたいというところで、追及してほしいと思った。加計に行く際、湯の山温泉、玖島を通過して帰る時にはこの地域の住人はどこのお店に買い物に行くのだろうと思っていた。商店街に行ったら揃うよ、というように活性化してほしい。アシスタントの笑いが番組の品を下げる。番組を通した笑い方を考えた方が良い。お店だけではなく、地域、街全体で目的地として行きたくなるように。

- ・好みの感じじゃなかった。